

8日目 10月2日

会 場： 県立浜山球場

第1試合		～3位決定戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
益田東		0	1	0	1	0	0	0	0	0							2	6	1
益 田		2	0	0	0	0	0	0	0	1x							3	9	2
(投手―捕手)																			
・ (益東)		福井雅→糸井→辻本 ― 永井																	
・ (益田)		宮内→松本 ― 俵																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (益東)																			
・ (益田)		西田																	
(審判)〔球審〕		安達健				〔一塁〕 城市				〔二塁〕 大畑				〔三塁〕 清水洋					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(益東)	37	6	2	0	0	0	5	3	3	0		1		1	0	0	0	0	
(益田)	36	9	3	1	0	0	5	3	1	0		3		2	1	0	0	0	

「益田、劇的サヨナラで中国大会決める！」

中国大会最後の枠のかかる3位決定戦は益田対益田東と同じ市町村内の学校どうしの対戦となった。

益田は1回裏、相手失策と送りバントで2死2塁とし、4番大森の三遊間を破る適時打で先制点を奪うと、連打で2死1・3塁とし6番俵がレフトへの適時打を放ち、益田東の先発福井雅をノックアウトし、2点のリードを奪う。

益田東も直後の2回表に安打と失策で無死1・2塁とし、7番永井の一二塁間を破る適時打で1点差に追い上げる。更に4回表、6番福井聖が安打と盗塁を決め、一打同点の場面を作り、7番永井が2打席連続となる適時打を放ち同点に追いついた。

6回に両者継投し、益田の松本と益田東の辻本両投手が先頭打者に出塁を許しつつ、送りバントのミスや併殺で防ぎ投手戦となる。7回表、益田東は安打と犠打、四球で1死1・2塁と逆転の好機を作るも、続く4・5番が併殺と外野への飛球に倒れ無得点に終わる。益田は2回以降、右上投げ投手の速球に苦しんでいたが、9回2死から四球で走者を出すと好投していた松本がライトへの安打で繋ぎ、2死1・2塁と一打サヨナラの場面を作る。ここで9番西田が高めに浮いたスライダーを捉えると、打球は右中間を破るサヨナラ2塁打となり益田が中国大会最後の枠を手にした。これにより、今年の中国大会進出校は全て公立校となった。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]